



府中南小学校

「命に出会う」学校だより キーワードは「共育」

令和7年5月号 発行責任者 校長 倉本 樹

学校HP <https://minamisho.fuchu-town.ed.jp>

♪ みんなのうた 5月号 「規則正しい生活リズムを！」 ♪

とても気持ちの良い季節です。

さて、令和7年度が始まり1か月がたとうとしています。新1年生も加わり、新しい南小が本格的に動き始めました。そのような中、大型連休がやってきます。天候的にも一番良い時期でもあるので、大人の方も子どもたちも心身共にしっかりリフレッシュしていただきたいと思います。

学校から一つ大切なお願いがあります。それは、「連休中も規則正しい生活を送らせてほしい」ということです。スタートして1か月、子どもたちもようやく学校生活や毎日の生活のリズムに慣れ、落ち着いてきたところです。ここで、そのリズムが乱れてしまうと、回復するのにとても時間がかかります。

どうかこの点をご家庭でも意識していただき、連休明けもスムーズな再スタートが切れるようご理解ご協力をよろしくお願いいたします！

府中南小学校長 倉本 樹

「サポーター活動」の中で育つ南っこ

府中南小学校は、コミュニティ・スクールを導入しています。南っこの日々の活動は、多くのサポーターさん（サポーター登録者と現役PTA会員）に支えられています。その活動の一部を紹介します。

1年生見守りサポーター

入学当初の1年生の下校やトイレと教室の往復などを見守ってくださっています。



学習支援サポーター

家庭科や図工、理科、生活科、総合的な学習の時間など、授業のサポートや校外学習の引率補助などを行っています。



印刷サポーター

毎日、いろいろなサポーターさんが、交代で児童が学習で使用するプリントや学校からのお手紙などを印刷室で印刷してくださっています。



本の修理サポーター

図書室や学級文庫など、児童が毎日手にする本は想像以上に痛みます。人気のある本は、なおさらです。毎週月曜日に活動してくださっています。



読み聞かせサポーター

南小の読み聞かせの会は「ほんと？本との会」といいます。毎週水曜日の朝タイムに奇数学年と偶数学年で交互に、また、毎週金曜日にはひまわり学級で本の読み聞かせをしてくださっています。



クラブ活動サポーター

手芸・編み物、囲碁・将棋、折り紙、科学・工作、消しゴムはんこクラブでは、サポーターさんが教職員と一緒に指導をさせていただきます。



6月から活動開始！楽しみです。

これ以外にも、南小は子どもたちが豊かに成長するように、保護者の方々、地域の方々が「共育」の理念のもと、活動してくださっています。たくさんの大人の声掛けや支援で見守られている南っこは優しさが育まれていると日々感じています。泣いている1年生の手を優しく引く上級生。休憩時間に誘い合って遊びに行く子どもたち。このような姿を見ながら、南っこは、「サポーター活動」の中で育っていると実感しています。いつも本当にありがとうございます。

これらの活動に興味をもたれましたら、今週のPTA総会后にサポーター登録もできます。また、毎月行っている、「グリーンサポーター」や「しゃべり場」に参加して聞いてみてください。

今月の「グリーンサポーター」と「しゃべり場」の様子を紹介します。

今月の「グリーンサポーター」「しゃべり場」

グリーンサポーター

今月は、プールの敷地内の草刈りをしました。地域の方、保護者、高校生、小学生、幼稚園児、役場の方など、たくさんの方が参加してくださいました。門が開かないほど草が伸びていたり、つるが絡まったりしていましたが、約2時間の作業で広く感じるほどきれいになりました。毎月第3土曜日に活動していますので、緑豊かな南小を保つために、ぜひご参加ください。



しゃべり場

今月は、布の名札ケースを作りました。いろいろな柄の布を準備して下さっていて、個性豊かな名札ケースが完成しました。「しゃべり場」では、毎月小物づくりなどをしながら、現在のPTAの方と卒業生の保護者の方が、和気あいあいとおしゃべりやちょっとした悩みや相談事などの共有をしています。作品が完成した後は、ティータイムもあります。児童が参加募集のお手紙を持って帰りますので、ぜひご参加ください。



スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・教育相談員さんのご紹介

教師だけではなく、学校には、いじめや不登校、さまざまな悩みの相談に応じ、助言をするなど心のケアを行う職員がいます。親や教師だけでは受け止めることのできない領域を、第三者となるスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・相談員等で補うことが目的です。

今年度もスクールカウンセラーとして三宅 舞（みやけ まい）先生と潮 敦予（うしお あつよ）先生が来てくださいます。また、スクールソーシャルワーカーの藤尾 和美（ふじお かずみ）先生、青少年教育相談員の埜田 武浩（たおだ たけひろ）先生も来てくださいます。経験豊富で頼りになる先生方です。

予約窓口は、教頭（名越）、生徒指導主事（石川）です。担任経由、または担当窓口へのお電話等ご予約ください。

今現在、決まっている日程をお知らせします。

《来校予定日》 ※終了時刻 30 分前が各日の最終面談となります。

【潮SC】 13:30~16:30	5/1 5/15 6/5 6/19 7/3 7/17 9/4 9/18 10/2 10/16 11/6 11/20 12/4 12/18 1/15 1/29 2/5 2/19 3/5 3/19
【藤尾SSW】 13:30~16:15	5/1 5/8 5/22 5/29 6/5 6/19 6/26 7/10 7/17 9/4 9/11 9/25 10/2 10/16 10/30 11/13 11/20 11/27 12/4 12/11 1/15 1/29 2/5 2/19 2/26
【埜田相談員】 9:30-11:30	毎月第3木曜日

※ 三宅SCについては、5月初めに決定します。来月の学校だよりでお知らせします。

学校生活の一コマ

府中南小学校ホームページにも、日々の生活の様子を掲載しています。ぜひ、ご覧ください。



PTAより…昨年度は今、2・3年生が使っている玄関のすいたを作っていました。今年度は、今、1・5・6年生が使っている玄関のすいたを作っていました。地面の傾きに合わせて、1枚1枚脚の高さを変えてくださっています。ヒノキのいい匂いがします。ありがとうございます。

1年生の給食…給食開始から約1週間が経ちました。1年生は、6年生に手伝ってもらいながら、自分たちでも少しずつ準備をしています。自分が食べられる量を調節しながら、バランスのよい食事がとれるよう頑張っています。



縦割り掃除…今年度は、1年生と6年生、2年生と5年生がペア掃除をし、3・4年生はペアではなくそれぞれで掃除をしています。美化委員会の6年生が掃除の始まりと終わりの放送をし、間では静かに掃除ができるようにオルゴール曲を流しています。1年生は、まずは6年生が掃除をしているところを見学しました。少しずつ6年生に教えてもらいながら、できることを増やしていきます。

学校評価

学校評価では、教職員だけでなく、保護者・児童・地域の方々、それぞれの立場から見た教育水準の向上や、子どもの成長につながると考える指標を取り入れています。客観的な評価のために、保護者の皆様にも年2回アンケートを実施させていただきます。よろしくお願いいたします。



令和7年度 府中町立府中南小学校 学校自己評価表

学校教育目標	自分が学ぶ みんなと学ぶ かしこく やさしく たくましく	経営理念 ミッション・ ビジョン	「共育」子ども大人も共に育つ学校・家庭・地域 1 共に学ぶ子ども …自ら学ぶ子・自分や友達を大切にする子・根気強くチャレンジする子 2 共に育つ教職員 …子どもと共に自ら育つ教職員・出会いを大切にする教職員 3 地域と共に育つ学校 …自分が好き 友達が好き（児童）子どもと共に学び合おう（保護者） 学校と共に子どもを育てよう（地域）
--------	---------------------------------------	------------------------	---

ビジョン（中期経営目標） 実現に向けての現状（進捗状況）と今年度の位置付け	不登校や発達に課題のある児童の実態から、組織的な生徒指導体制の推進を図ると共に、学校とは「学びを通して人をつなぎ共に育つ場である」ことを家庭・地域と再確認しつつ、「命の教育」を中心として各部の取組を横断的につなげ、充実させていく。
--	---

A 中期（3年間） 経営目標	B 短期（今年度）経営 目標	C 目標達成のための方策	D 評価指標	目標 値 （% ）
a 主体的に学び続ける児童の育成	・自ら課題を見つけ、解決しようとする児童の育成	・主体的な学びを促すための「自己内対話」と「評言」を取り入れた授業づくり ・新たな課題を見つけるための「振り返り」の充実 ・基礎学力の定着を図るための授業力の向上	自己内対話を促す評言を意識した授業・単元づくりに取り組む教師	90%以上
			自分の考えと比べながら聞いたり考えたりして振り返りを書けた児童	80%以上
			算数科の単元末テストで、正答率70%以上の児童	85%以上
b 読書活動の推進・充実	・自分で読みたい本を選んで読書しようとする児童の育成	・読書祭りを中心とした強化月間の設定（委員会活動とのコラボレーション） ・読書活動を取り入れた単元づくり ・リプロカードの効果的活用	自分で読みたい本を選んで読書ができる児童	80%以上
			学期に1回以上、読書活動を取り入れた単元づくりを行った教師	90%以上
c 生徒指導体制の確立	・教職員による統一した指導（当たり前の文化） ・お互いの違いを認め合い、お互いを大切にする児童の育成	・異年齢や同年齢集団による協調的な関わりの場の設定（質の向上） ・各学年の取組、成果を共有する場の設定（意識の向上） ・生活目標の普及と振り返りの充実	「たてわりで遊んだり活動したりするのは楽しい」と答えた児童	85%以上
			「同学年の仲間と学んだり、一緒に何か活動したりするのは楽しい」と答えた児童	85%以上
			「生活目標（生徒指導に関わる内容）を意識することができている」と答えた児童	80%以上
d 体づくりの推進・充実	・運動意欲の向上 ・食育の充実	・児童の運動に対する意欲、興味関心向上の取組（委員会活動とのコラボレーション） ・「バランスの良い食事」を理解する授業の実施 ・給食試食会の協働実施（委員会活動のPTAとのコラボレーション）	体を動かすことは楽しいと感じる児童	85%以上
			バランスの良い食事を心がける児童	90%以上
e 信頼される学校づくり（コミュニティ・スクール）の推進・充実	・「共育」活動の充実	・サポーター活動の発信、充実 ・地域と教職員の協働した取組の推進（委員会活動とのコラボレーション）（授業や放課後学習支援） ・CSに関する職員研修の実施（CS事務局やサポーターとのコラボレーション） ・働き方改革の推進（会議の効率的な運営）（業務のスクラップ&ビルド） ・子どもと向き合う時間の確保（ノ一宿題デー）（授業時数短縮）	教育活動の満足度（児童・保護者）	90%以上
			「子どもと向き合う時間の確保ができている」と答えた教職員	80%以上

